

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 12 月 28 日 (2006.12.28)

【公開番号】特開 2005-269298 (P2005-269298A)
 【公開日】平成 17 年 9 月 29 日 (2005.9.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-038
 【出願番号】特願 2004-79589 (P2004-79589)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/405 (2006.01)

B 4 1 J 2/52 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/40 B

B 4 1 J 3/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 9 日 (2006.11.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 10】

ドット記録装置に供給するための印刷データをコンピュータに生成させるためのコンピュータプログラムであって、

前記ドット記録装置は、

第 1 の方向の寸法 L_h が、前記第 1 の方向に垂直な第 2 の方向の寸法 L_v よりも大きいドットを、前記第 1 および第 2 の方向に沿って印刷媒体上に形成することができるドット記録装置であり、

前記コンピュータプログラムは、

ハーフトーン処理を実行して印刷データを生成させるハーフトーン処理部を含み、

前記ハーフトーン処理部は、

ドットの形成の有無がすでに決定されている画素である決定済み画素に与えられている濃度の階調と、前記決定済み画素においてドットの形成の形成または非形成によって表現される濃度の階調と、の間のずれに基づいて、前記決定済み画素に対して前記第 1 の方向に隣接する画素である第 1 の横周辺画素の階調値を改変し、または前記第 1 の横周辺画素におけるドットの形成の基準となるしきい値を改変する場合に、前記ずれに第 1 の横重み W_h1 を掛けて使用する第 1 のユニットと、

前記ずれに基づいて、前記決定済み画素に対して前記第 2 の方向に隣接する画素である第 1 の縦周辺画素の階調値を改変し、または前記第 1 の縦周辺画素におけるドットの形成の基準となるしきい値を改変する場合には、前記ずれに第 1 の縦重み W_v1 を掛けて使用する第 2 のユニットと、を有し、

前記第 1 の横重み W_h1 は、前記第 1 の縦重み W_v1 よりも大きい、コンピュータプログラム。